

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

5～6月が繁忙であったため、7月から時間を確保しやすい夜勤でのカンファレンスを始めた。接遇におけることやインシデントにおける個々の目標をテーマにしたカンファレンスを行った。また、昼間のカンファレンスにおいても、定期的とはいかないが、退院支援や今後の方向性のカンファレンス(5件) STAS-J カンファレンス(10件) 医師との倫理カンファレンス(2件) が開催でき、多職種で有意義な話し合いを行うことができた。

2) 病院運営・経営に参画する

がん患者指導管理料イ:51件(昨年度32件)、がん患者指導管理料ロ:19件(昨年度9件)と増加している。バッドニュースのICに同席しがん患者指導管理料イを算定後、STAS-Jで評価し精神的な苦痛に継続的に介入し、がん患者指導管理料ロの算定に繋げることができている。

毎週火曜日の定期内服薬の照合に時間を費やし、超勤の大きい要因であった。薬剤部に交渉し、前日の月曜日のうちに出来上がった内服薬だけでも先に上げてもらい、夜勤の空いた時間に照合するようにすることで、火曜日の内服薬照合にかかる時間が圧倒的に減少した。輸血、抗がん剤の運搬をアシスタントやクラークにタスクシフトすることに対して、他施設の情報を集めることができたので、今後は必要部署と話し合い実現に向けて取り組む。1月までの日勤・長日勤の超過勤務時間の前年度比は、約130%に増加し目標を大幅に下回った。昨年度より人員-4人、移植件数の増加(3倍以上)、患者の高齢化が影響したと考える。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

誤薬のインシデント:75件(前年度69件) 転倒:47件(前年度33件) 与薬時の指差呼称の徹底を目標に、クルーを決めて呼びかけることで、前期に比べ後期は4割減少した。年間目標値には達成できなかったため、引き続き手順通り正しく行えているか、指差呼称ができているか、評価しながら個別指導を行っていく。

4) 専門職としての能力開発に努める

毎月のプリセプター会で、新人看護師の現状や今後の計画について話し合い、その話し合いの内容をもとに、新人看護師教育プログラムを作成した。また、新人ナースィングスキルの中から8B病棟で必要な項目をピックアップし活用を呼び掛けたことで、全員が指定した項目すべてを視聴することができた。今年度は復習的に視聴したが、来年度は視聴時期と経験させる時期をセットにして教育プログラムに組み込めるように教育プログラムを修正する。

医師・看護師にて輸血・移植の勉強会は予定通り開催できたが、参加が少なく日勤のみの参加となり、参加率70%には達成しなかった。講師側と参加者側両方の負担軽減のためにも動画研修にしていつでも視聴できるような工夫が必要である。

PEACE研修2名、エキスパートナース研修2名(院内認定看護師:がん化学療法・緩和ケア)修了。

5) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

カンファレンスを通して対話を広めるために、時間を確保しやすい夜勤でカンファレンスを行った。スタッフのアンケート結果を満足度で評価したところ、チームワークに関する満足度は高く、看護業務量に対する全質問において極端に低かった。注目していた「カンファレンスで自分の意見が言える」の満足度は68.1%であった。夜勤帯にカンファレンスの時間を確保するという意識の定着は図れた。昨年度6名であった退職者を1名に抑えることができたことは取り組みの大きな成果と言える。アンケート結果から見えてきた課題は、やはり業務改善である。看護補助者へのタスクシフトも検討し今後も看護師の業務軽減を積極的に検討していく。

2. 病床運営状況

表1 令和4年度 病床運営状況

収容可能 病床数 (床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数 (人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率 (%)	病床 稼働率 (%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
47	血液内科	55.9	58.9	43.1	21.3	85.5	89.7

重症加算病床		有料個室		無菌室		死亡者数 (人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
1	91.8	2	97.1	23	87.8	30

3. 看護体制

表2 令和4年度 看護体制(令和3年4月1日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
29	PNS [®]	3:3

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表3 令和4年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	19.5	29.6	33.4	30.9	26.6	21.3	26.8	26.9	24.9	21.4	22.4	23.6	25.7

2)部署データ

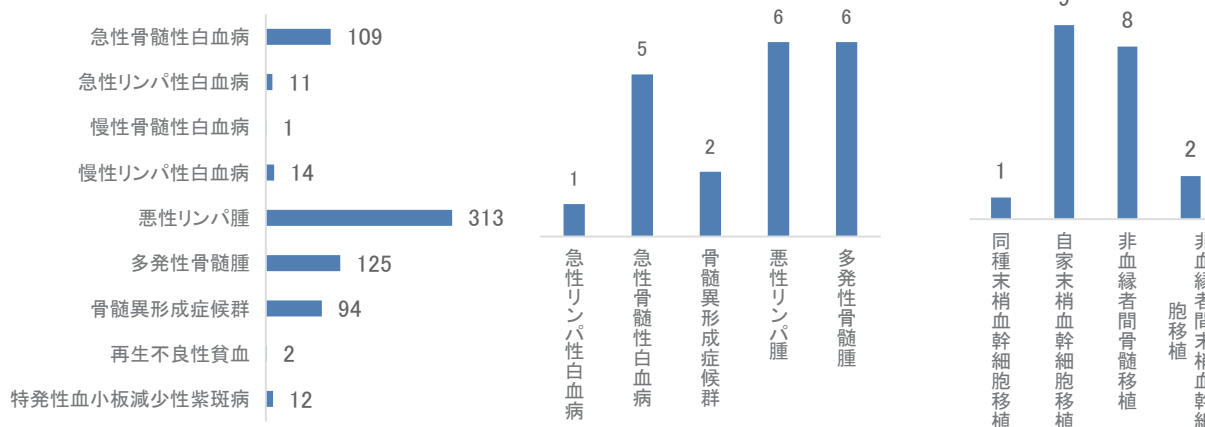


図1 令和4年度
主要疾患患者数(人)

図2 令和4年度
造血幹細胞移植レピエントの疾患と患者数(人)

図3 令和4年度
移植の種類と件数(件)

表4 令和4年度 化学療法件数 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
345	302	310	296	334	288	284	267	272	241	282	278	3,499

表5 令和4年度 輸血件数 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
239	270	245	257	211	223	245	214	221	236	241	278	2,880